

先輩監督官からのメッセージ



愛媛労働局松山労働基準監督署
露口 華奈子
令和7年度任官（A監）

松山署女性監督官
4名で石鎚山登山



Q なぜ労働基準監督官を志望したのですか？

人々の生活基盤である「労働」を支える労働行政に興味があり、大学3回生の時に、愛媛労働局のインターンシップに参加しました。インターンシップの中で労働基準監督官という仕事を知り、労働者の命や権利を守るために第一線で活躍できる仕事であることに魅力を感じ、労働基準監督官を目指し始めました。

また、3～4年目の県外異動を除き、基本的に愛媛県内で働き続けることができるため、将来のライフプランを立てやすいところも、労働基準監督官を志望した理由の一つです。

Q ずばり、労働基準監督官の魅力ややりがいは何でしょうか？

労働基準監督官としてのやりがいは、労働者からの相談を受けて監督指導を行った結果、法違反が是正され、労働者の方から感謝の言葉をいただけることです。直接感謝の言葉をいただいたときは、「この仕事をしていてよかった」と感じます。

また、労働基準監督官の魅力は、日々新しい発見に出会えることです。特に、工場の監督指導の際は、身近にある商品の製造過程や、私生活では絶対に目にしないような機械や設備を見ることができます。これは、この仕事ならではの魅力だと思います。

さらに、労働基準監督官は内勤と外勤の両方がある仕事なので、気持ちを切り替えながら業務に取り組めるところも魅力の一つです。

Q 任官後に苦労したことと、その乗り越え方について教えてください。

日々新しい発見に出会えることは魅力である一方で、初めて見る機械や設備について、どのような危険があるのか、どのような法規制があるのか、などを考えることが大変だと感じます。そのため、監督指導に行く前に、会社のホームページなどを見て使用している機械や設備について情報を集め、どのような危険や法規制があるのかを事前に検討してから現場に行くようにしています。

Q 労働基準監督官を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

労働基準監督官は、労働者の命や権利を守るために日々監督指導を行い、労働環境の改善に取り組んでいます。労働者の方から直接感謝の言葉をいただくことも多く、とてもやりがいのある仕事です。

「法律の知識がないけど大丈夫かな」と不安に感じる方もいると思いますが、任官後1年間は研修期間として、講義や実務を通じて、必要な知識や監督指導の手法を学ぶことができます。また、相談しやすい環境が整っているため、2年目以降も、分からないことや判断に迷うことがあれば、上司や先輩に相談しながら業務を進めることができます。

みなさんもぜひ、労働基準監督官という仕事を進路の一つとして考えてみてください。

先輩監督官からのメッセージ



愛媛労働局松山労働基準監督署
浮村 一帆
令和7年度任官（A監）



趣味の自転車。休日は先輩とサイクリングもします。

Q なぜ労働基準監督官を志望したのですか？

私が大学生の時、先に就職した地元の友人が、長時間労働と上司からのパワハラのために退職してしまったことがありました。多くの人が働いて生活しなくてはならない中で、未然に防げるトラブルのために働けない、働きにくいことがあってはならないと強く思うようになりました。

企業に立ち入り労働条件や就業環境を法律の根拠をもって改善できる「労働基準監督官」を知ったのは上記の友人の件があったことと、学生時代の講義で取り扱われたからです。

Q ずばり、労働基準監督官の魅力ややりがいは何でしょうか？

1つ目は、様々な企業へ立ち入れる点です。管轄内の事業場に定期的に立ち入り調査を行いますが、製造業やサービス業、業種に偏らないため、初めて目にする工業機械や建設機械は面白く、同伴してくださるのは工場長等でその業界や使用方法を熟知しておられるので新たな発見が得られます。

2つ目は、働く人を、労働条件の側面、安全衛生の側面の両方から支えられる点です。法律の根拠をもって働く人を支えられるのはほかにない強みで、やりがいを感じます。

Q 任官後に苦労したことと、その乗り越え方について教えてください。

覚えるべき法律が多く、事業場の方との対応方法、事案の処理能力といった専門的な知識や対応力が求められることです。

知識については、任官後に多くの参考書や研修の機会が与えられ、日々の業務では事案ごとに法律や参考書を読みなおし、先輩監督官にも自身で検討したうえで頼れるためサポートは手厚いです。

対応力については、2人体制（チーム監督）での調査が多いため移動中に先輩監督官に進め方等を聞く機会があり、調査時にも先輩監督官の手法を直に学べるので、大変参考になります。

Q 労働基準監督官を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

労働基準監督官を目指す方は、他の行政機関志望者よりも志望理由が明確な方が多いように感じます。目指すきっかけとなった気持ちや出来事は任官後でも重要な支えになります。その気持ちを大切にしておいて今後の労働行政を支える一員としてともに頑張りましょう。

先輩監督官からのメッセージ



愛媛労働局新居浜労働基準監督署
筈下 翔平
令和7年度任官（B監）



Q なぜ労働基準監督官を志望したのですか？

私が大学生の頃、技術者倫理に関する講義を受講していました。その講義では、労働者に対する安全教育の不備が原因の一つとなり、悲惨な労働災害へと至った事例について学ぶ機会がありました。

この講義をきっかけに、働く方々が安全で安心して働ける職場環境づくりに貢献したいと考えようになりました。そこで関連する職業について調べる中で労働基準監督官という職業を知り、労働者の安全と健康を守る重要な役割を担っていることに大きな魅力を感じました。また、理系の採用区分があることを知り、大学で専攻していた化学の知識を活かすことができるのではないかと考え、労働基準監督官を志望しました。

Q 学生時代の学びは業務にどう活かされていますか？

小規模な事業場の中には、有機溶剤や特定化学物質と呼ばれる健康障害を引き起こすおそれのある化学物質について、その危険性を十分に理解しないまま取り扱っているケースが少なくありません。そのような事業場に対し、「取り扱っている化学物質にこういった危険性があるのか」、「その危険性に対してどのような対策を講じるべきか」といったことを説明する際に、今まで学んだ化学の知識が役に立ったと感じています。

Q これまでで印象に残っている業務や出来事は何ですか？

私が労働基準監督官に任官して間もない頃、労働災害が起きた事業場へ監督に同行する機会がありました。労働災害の内容は、工作機械から飛んできた金属片で片目を失明したものでした。その工作機械に覆いは設けられておらず、また、被災者に対して防護眼鏡も着用させていませんでした。

この経験を通じて、安全対策が適切に講じられているかどうか、労働者の健康や安全に大きく影響することを改めて実感しました。そして、一件でも多くの労働災害を防ぐために、知識や経験を積み重ね、労働基準監督官として少しでも現場の役に立てよう努力していこうと強く感じました。

Q 労働基準監督官を目指す理系の方にメッセージをお願いします。

労働基準監督官は、あらゆる業種の事業場に対して調査・指導を行います。その中には、産業機械や化学物質などを取り扱う事業場もあり、調査や指導に当たって専門的な知識が求められる場面があります。そのような場面では、大学で学んだ知識や経験を活かすことができます。

私は、労働基準監督官という職業について、働く方々の健康と安全を守ることに繋がるとてもやりがいのある仕事だと感じています。この話が少しでも労働基準監督官という仕事に興味を持つきっかけとなれば嬉しいです。

先輩監督官からのメッセージ



愛媛労働局労働基準部健康安全課

速水 雅知

令和2年度任官（A監）



Q なぜ労働基準監督官を志望したのですか？

最初は労働基準監督官が主役のドラマを見たことがきっかけでした。

その後、先輩監督官との座談会に参加した時に、事業場に対する確かな指導を行う姿勢や業務に対する裁量が大きいことを聴き、自分の仕事にやりがいを感じて志望しました。

Q 文系出身者でも安全衛生業務に対応できますか？

対応できます！

強度計算や専門用語などに触れる機会は多く、勉強は必要ですが、安全衛生業務に必要なことは、法令と照らし合わせて機械の設計や使用状況に問題がないかを判断することなので、文系、理系問わず対応できると思います。

Q ずばり、安全衛生業務の魅力は何ですか？

仕事の解像度が上がることで、事業場とより良い職場環境を作ることができることだと思います。

前者は、様々な事業場に立ち入ったり、事業場からの届出の審査をしたりすることで、特に建物や製品がどのように作られているかを知ることができます。その結果、様々な仕事に対する解像度が上がり、仕事に対する知識が増えるだけでなく、的確な指導といった実践につながれるところが魅力だと感じます。

後者は、安全衛生に特化した知識が身に付くので、専門性の高い話を事業場とすることができ、事業場側の意向と法律の趣旨をすり合わせながらお互いが納得いく提案をできた時には、やりがいや達成感を感じることができるのでその点が魅力だと思います。

Q 3、4年目の他局勤務で印象に残っている出来事は？

3、4年目は兵庫労働局で勤務したのですが、兵庫は港湾荷役がさかんな地域だったので、大型のクレーンが多くありました。自分が検査を担当したガントリークレーンの中には高さが70mを超えるものがあり、検査をしながら余りの大きさに圧倒されたことを覚えています。

愛媛県ではここまで大きなガントリークレーンはないので、他県の主要産業を支える専門的な機械に触れた経験はとても印象に残っています。

Q 労働基準監督官を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

労働基準監督官の仕事は、労使ともにより良い関係を築く上で必要不可欠な仕事です。

様々な知識が必要になりますし、勉強も必要ですが、やりがいのある仕事だと思いますので、ぜひ労働基準監督官を目指していただければと思います。